

自分で増やすのは難しそう!というビギナーは 家事に「EMW」、植物に「EM1」を!!

初めてEMを使う場合は、まずは市販品の「EMW」「EM1」でその良さを実感してみましょう。どちらも説明書の通りに薄めれば手軽にすぐ使えます。家庭菜園や植物への水やりには「EM1」を。家の中のお掃除やお洗濯には、色移りの心配がなく、かんきつ系のさわやかな香りの「EMW」がおすすめです。
(自分で増やした「EM活性液」は部屋に散布したり洗濯に使用したりすると、原料の糖蜜の色が移ってしまう場合がありますので、希釈倍率に注意。加減がわからないビギナーや、色移りが心配な方は「EMW」を使用すると安心です)。



「EM活性液」「米のとぎ汁EM発酵液」は経済的で微生物が活性!!

一方、「EM活性液」や「米のとぎ汁EM発酵液」は必ずしも増やして使う必要はありませんが、安価な材料でたくさん増やしていけるので、だんぜん経済的!米のとぎ汁を利用すれば、なおエコです。また、これらの自家製品の最大のメリットは、EMの中の微生物を活性化させる(目覚めて元気になる)ことで、EMが早く働き、いい効果も早く期待できます。住まいや園芸だけでなく、お風呂に入れるのも活用法のひとつ。私たちの皮膚には常在菌といって、皮膚を保護してくれている微生物がたくさんいますが、EMも微生物のバランスを整える働きがあるため、実際に使っている方からは「湯冷めしにくい」「温泉に入ったようだ」といった声も上がっています。



EMに関する質問あれこれ!!

Q1

子どもが間違っ
て飲んでしまいました。
大丈夫でしょうか?

A

きちんと発酵しているものの
場合、口に入っても問題あり
ません。EMは乳酸菌や酵母
などの善玉菌の集合体で
す。ただし、活性液をつくら
ずから長期間放置したもの、腐
敗臭のするものを口にしてい
たら、異常が見られる場合は医
師にご相談ください。

Q2

EMは沖縄(暖かい地域)で
開発されたため、
寒い地方や冬では使っても
意味がないのでしょうか?

A

使用している微生物は世界中ど
こにでもいる微生物たち(光合成
細菌・乳酸菌・酵母など)ででき
ています。畑に使用する時など、
冬場や気温の低い時期には活動
がゆっくりになりますが、これは
微生物一般に言えることです。
EMは使用し続けることで、暖か
くなった時に爆発的に効果を発
揮します。

Q3

EMは薄めて使うのが
基本のようですが、
濃すぎた場合は
問題がありますか?

A

土に直接まく分には薄めず
に使っても問題ありません。
ただし、EMはpH3.5(※)と
酸性が強いので、新芽が出
たばかりの若い植物には
1000倍を目安に希釈して使
いましょう。薄めずにかけて
しまった場合は、その後水
をかけてあげましょう。
※一般的に、雑菌はpH3.5以下では
繁殖できないとされているため、
品質を保つためpH3.5を基準としています。

EM生活実践講座 VOL.8

いろんなEMを、上手に使い分けよう!!

「EM1」「EMW」「EM活性液」「米のとぎ汁EM発酵液」 それぞれの特徴とおすすめポイントはこちら。

「EM」と名前がつくものにはいろいろありますが、「EM1」「EMW」はすぐに使える市販品。「EM活性液」「米のとぎ汁EM発酵液」は買って来た「EM1」に水、糖蜜、米のとぎ汁などを加えて増やす自家製のEMです。基本的にはすべて同じ使い方ができますが、それぞれに特徴やおすすめポイントがあります。

	微生物の状態	コスト	おすすめポイント	使い方
 EM1 製品	休眠している ※製品としての安定化を図るため。	1L/2,100円 500ml/1,100円	購入後すぐに、 薄めて使うことができる。 EMを初めて使う方におすすめ。	用途にあわせて薄めて使う。 詳しい使い方はEM生活HPをご覧ください。
 EMW 製品	休眠している ※製品としての安定化を図るため。	500ml/1,050円	薄い色とかんきつ系の 香りがポイント。 色移りの心配がないので、 家の中で使用したい方におすすめ。	
 EM活性液 自分で増やす EM1 + 水 + 糖蜜	活性している	2L/約110円※	自分で増やすことで、 安く、たくさん使用できる。	
 米のとぎ汁EM発酵液 自分で増やす EM1 + 米のとぎ汁 + 糖蜜	活性している	2L/約110円※	自分で増やすことで、 安く、たくさん使用できる。 また、汚染源となりうる米のとぎ汁を 有効活用することで、環境にやさしい。	

※水および米のとぎ汁代を含まない。



その他
EMの
使い方は
こちら!

EM生活のホームページにも掲載されています。
ホームページ <http://www.em-seikatsu.co.jp>